

## 調査結果の概況

佐倉市では、市民の皆様の意向を踏まえた市政を推進していくため、市民意識調査を実施しました。

今回は、佐倉市全体に対するイメージ、定住意識と地域の住みごこち、市の政策として力を注ぐべき事項、テーマ別の調査事項（市町村合併、インターネット・ホームページ、日常の買い物動向の3つのテーマ）に関するアンケートを実施いたしました。

### 1．佐倉市全体に対するイメージ

市全体に対してどのようなイメージを持たれているかを伺うための質問を3問（問5～問7）設けました。

その結果、プラスのイメージとしては、「1 自然環境が良い」と「9 地域の歴史や伝統が豊かである」との評価が圧倒的な多数（744人 71.5%）を占めました。また、市内の好きな場所や行事等に関する質問においても、国立歴史民俗博物館、川村記念美術館、佐倉・国際印旛沼花火大会、佐倉城址公園、佐倉チューリップまつりを挙げた人が多く、自然や文化に関する関心が高いことがわかります。

マイナスのイメージとしては、際だった項目はないものの、通勤通学の利便性、保健・医療・福祉の水準、買い物、防犯対策、街並み景観に関する項目を選択した人が多く、生活の利便性や安全に加え景観の美というものへの関心の高さが伺われます。

### 2．定住意識と地域の住みごこち

佐倉市を今後も住み続ける場として考えているか、また自らの地域についての住みごこちと日々の暮らしを営む上での満足度について伺うため、定住意識について2問（問3、問4）、地域の住みごこちについて1問（問1）、満足度については1問11項目（問2）を設けました。

その結果、現在の居住地について、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」と回答した人の割合は81.4%（463人）でした。また、現在の居住地に住み続けたいかとの質問に対しては61.5%（352人）の方から住み続けたいとの回答が得られました。一方、「市内での転居」と「市外へ転出したい」と回答した人は20.3%（116人）でありその主な理由としては、「3 商店街が近くになく日常の買い物に不便である」21.8%（27人）、「2 通勤・通学に不便である」が20.2%（25人）、「1 2 自己の都合による」が15.3%（19人）という結果となっています。際立った理由はないものの、生活に密着した利便性の理由が挙げられています。

市民の目から住んでいる地域を見た場合の満足度を聞く設問では、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を選択した人数が、有効回答数の半分以上を占めている項目は11項目中7項目となっており、割合が高い順から挙げると、一番多いのは「周辺の自然環境」で回答者数の86.1%（475人）、「日常の買い物の利便性」62.1%（345人）、「隣人や町内会との人間関係」60.9%（340人）、「公民館・

図書館などの文化施設整備」59.7%（327人）「道路や下水道などの都市基盤整備」58.3%（322人）「公園などの憩いの場所の確保」55.7%（303人）「通勤・通学の利便性」51.3%（275人）となっています。満足しているとした割合が半分を割っている項目は、低い順から、「働く場所の確保」23.9%（124人）「自治会活動、ボランティア活動等の充実」43.8%（238人）「保健・医療・福祉体制の充実」44.0%（244人）「子育ての環境整備」49.9%（260人）となっています。ただし、半分を割った4項目中、「働く場所の確保」のみが「どちらかといえば不満」と「不満」を選択した人が「満足している」「どちらかといえば満足している」を大きく上回っており、他の3項目においては、「満足している」「どちらかといえば満足している」を選択した人が「どちらかといえば不満」「不満」を選択した人よりも上回っており、顕著な不満傾向があるものとは認められませんでした。

### 3. 市の政策として力を注ぐべき事項

今後の市政を進める上で、特に力をいれるべきであると考える事項についての意見を伺うため、選択肢として主な事務事業を38項目を掲げた中から5項目を選択していただきました。

多くの市民から関心を寄せられていた項目は、高齢者等あらゆる人が社会参加ができる環境の整備として道路関係を選択した人が多く、「1 幹線道路の整備」、「2 歩道や自転車・歩行者道の整備」、「3 家のまわり道路や側溝の整備」を加えると、全体の14.1%（377人）の方が力を入れてほしいとしています。続いて、地域社会の安全性という視点から「10 防犯パトロールなど防犯活動の強化」を挙げた人が6.0%（160人）、「4 カーブミラーや街灯の整備」が3.5%（93人）となっております。また、高齢社会を反映して「21 高齢者医療や介護保険サービスなどの高齢者福祉の充実」を挙げた人が8.7%（232人）となっています。

このほか、「33 商店街の活性化」140人、「9 バス路線確保など公共交通網の整備」137人、「17 自然環境の保全」134人、「16 リサイクルを含めたゴミ処理体制の充実」119人、「18 救命・救急など医療体制の充実」116人と続いています。

### 4. テーマ別の調査事項

市政を推進する上で参考とするため、3つのテーマに関して意見を伺いました。

#### （1）日常の買い物動向について

日常生活を営む上で必要な買い物をとおし生活圏を把握するとともに、商業振興の基礎資料とするため5問（問9～問13）を設け意見を求めました。

日常の買い物をする際の交通手段で最も多いのは自家用車の60.8%（347人）であり、徒歩と自転車・バイクはそれぞれ16.8%（96人）という結果でした。

日常生活圏も意識した商品別の購入場所に関する質問について購入先を3箇所選択してもらったところ、食料品については、肉は70%以上が市内で購入しており、

野菜・魚・その他食料品は全て市内で購入が60%台となっています。

また、家電製品、本・CDについても半数以上が市内で購入している結果が出ている。

市内購入が半数を割っているものは、日常衣料品、高級衣料品、家具、スポーツ用品、贈答品であり、高級衣料品については、東京都(25.4%)千葉市(24.7%)と答えた人が多く、市内購入する人は、11.9%(107人)と僅かであった。

高級衣料品と贈答品を除いた日常使用している品目の他市での購入は、八千代市8.7%、千葉市8.4%、成田市6.5%、船橋市5.7%という結果となっています。

次に、市内で買い物をする場合の購入先について、食料品については、肉・野菜・魚とも9割以上、その他の食料も9割近くがスーパーマーケットとの回答であり、地元商店が他を超えているのは、家具、家電製品、本・CD、スポーツ用品という結果でした。

どのような店舗で買い物をしたいかとの質問に関しては、「9豊富な品揃えのあるお店」と「8品質のよいお店」を挙げた人が41.8%で、「5駐車場が整備されている」「7価格の安いお店」「1親切な対応をしているお店」と続いています。

次に、地元の商店についての設問では、対応・雰囲気、価格、開店・閉店時間については、ある程度評価されていたものの、品揃えと駐車場については約5割以上の人が不満と回答しています。

## (2) 市町村合併について

各種の報道でも話題になっているように、国の方針として市町村合併の推進が大きく取り上げられています。そこで、この問題について、市民がどう捉えているかを問う質問を2問(問14、問15)、佐倉市についてどう考えるかという質問を4問(問16~問19)を設け意見を求めました。

その結果、「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」との回答が有効回答者数の46.9%(269人)であり、「どちらともいえない」と回答した人を除くと全体の半分以上(54.2%)の人が関心があると回答しています。また、関心があると回答した人の内、全国的な市町村合併の推進に「賛成である」が23.4%(63人)、「どちらかといえば賛成」であるが45.4%(122人)であり全体の約7割の人が賛成すると答えています。

しかし、佐倉市が合併する必要があるか否かの質問に対しては、「どちらかといえば必要ない」との意見が有効回答者数の半分以上(56.9% 323人)であり、必要あるいはどちらかといえば必要との意見は23.0%(131人)にとどまりました。

これらのことから、「市町村合併」については、全国的には推進することに肯定的な考えの人が多いものの、佐倉市には合併は必要ないと考える人が多い結果となっています。

次に、必要・不必要それぞれの理由を2つ選ぶ設問では、必要がないとした理由のうち主なものは、選択者数の多い順から、「1歴史・文化・伝統といった地域の個性が薄れるから」140人、「7周辺市町村との合併では、佐倉市にとって合併メリッ

トがあると思えないから」128人、「5 佐倉市独自の政策で自治すべきであると考え  
るから」98人、「4 財政状況が良いとはいえない市町村との合併は、マイナスに  
なるから」69人、「6 広域的な対応は、周辺市町村との連携で補完すればよいと考  
えるから」63人という状況でした。

必要ありとした理由のうち主なものは、「7 文化施設等の公共施設の効率的配置や  
職員数を抑制することができ、行政のスリム化が進むから」が55人、「1 財政の健  
全化のため」50人、「2 行政サービスの高度化、多様化に対応するため」40人、「5  
各種サービスが水準の高い方に調整されることにより、住民の暮らしがよくなると考  
えるから」36人、「4 自然環境の保全や幹線道路整備など広域的な対応が図れるか  
ら」31人という結果でした。

なお、必要であるとした方々が合併の相手として選んだ市町村は、四街道市を選  
択した人が一番多く71人、続いて、八千代市68人、酒々井町53人、千葉市と印旛  
村がそれぞれ39人、八街市31人という順番でした。

### (3) インターネット・佐倉市のホームページについて

佐倉市では、より多くの住民の方々へ行政の情報をお伝えするため、ホームペ  
ージを開設しています。住民の方のパソコン及びインターネットの利用状況と市のホーム  
ページについて質問(6問 問20~問25)を設け意見を求めました。

その結果、自宅にパソコンがある人は有効回答者数の約7割(399人)、また、自宅  
若しくは勤務先等でインターネットを利用しているという人は約6割(330人)とい  
う結果であり、住民にパソコン・インターネット時代が到来していることが実証され  
た結果となっています。

次に、佐倉市のホームページにアクセスしたことがあると回答した人は、39.1%  
(128人)に留まっています。また、接続した人が役立つ情報として挙げた項目は、  
選択した数の多かった順から、「2 観光の情報」40人、「6 医療機関の情報」28人、  
「1 手続き方法、窓口」・「12 広報紙」がそれぞれ25人となっています。どのよう  
な情報を望むかという質問に対しては3項目を選んでいただきましたが、「1 各種証  
明手続きの情報」と「5 公共施設利用(予約)に関する情報」がそれぞれ165人、  
「2 福祉行政(介護、障害者福祉など)に関する情報」が160人となっており生活  
に役立つ情報が望まれる傾向を示しています。